



日本共産党区議会議員
こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.familye.ne.jp/~k-itou/index.html>

第2回足立区議会 定例会はじまる

第2回足立区議会定例会が6月12日から29日まで開かれます。日本共産党区議団は緊迫する情勢のなか、消費税増税、原発再稼働について区長の政治姿勢を追及するとともに、学校統廃合、震災・防災対策、介護保険など、区民の切実な願いを実現させる論戦を行いました。

近藤区長の挨拶(6月12日)は「急速な少子高齢化社会の進展」で「行政需要は増加の一途」「基金を大幅に取り崩して予算編成」してきたが、「歳出規模に負合っ歳入の確保はきわめて困難な状況」「今後の財政フレームを再構築した上で」「事業の選択と集中、整理・統合」などにより、時代の変化に対応した施策・事業へと再編することが急務」と言いつて、「痛みを伴うことも予測されるが課題を先送りすることなく責任もって実行することを宣言しています。」

そして、防災対策を口実に、「各自治体の判断で平成26年から35年まで各年度の住民税均等割額を500円増額することが可能となり」「足立区も区民税の均等割額を



写真は「増税するなら富裕層に」と訴える伊藤和彦区議(竹ノ塚駅東口)

日本共産党の代表質問は、区長の政治姿勢について、所得も消費も落ち込んでいるときに消費税増税すれば、日本経済の6割を占める個人消費や雇用の7割を支える中小企業に大きな打撃となり景気は悪化する。低所得者や中小企業の多い足立区の区長として区民の生活を支え中小企業を応援し所得や税収を増やすことは重要な課題だと指摘し、収入に応じて課税する応能負担が基本であり、世界の流れとなっている富裕層に対して増税を行うことを、区長はどう思うか。質問しました。

原発はもともと、現在の技術ではコントロールできない危険なもの。政府は関西電力大飯原発の原発再稼働の動きのなか、東京電力の特別事業計画に柏崎刈羽原発の稼働を盛り込んだ。区は予算委員会でもわが党の質問に「再稼働を容認する」ような答弁を行ったが、原発に依存しない地域づくりを唱える首長らが「脱原発をめざす首長会議」を設立し、「原発再稼働は拙速に陥らず、地元自治体、住民の合意形成を求め」決議し、「2012年夏に制定される新しいエネルギー基本計画において、原発ゼロとなる決定を政府に求める」決議をあげている。同じ自治体の長として区長もこの立場に立つべきと思うかどうか。と質問しました。

千寿第五小学校の統廃合については、区が自らルールを破って進め、地域の理解が得られず、「再検討を求め」署名、4月には地元3町会長から、人道に反する統廃合のすすめ方に、止むにやまれず「統廃合撤回の嘆願書」まで提出された。いまだ圧倒的住民が反対し合意が得られないのに、強引に教育委員会が進める統廃合を、区長は認めるのか。質問しました。

震災・防災対策については、都の被害想定には住宅の倒壊、雑居ビル、高速道路、地下鉄など事故の数値化が行われていないなど、過小化につながり、「区民の命、および身体、財産を守る」地域防災計画はできないと思うか。区長はどう考えるか。質問しました。

また木造密集地域対策、通電火災対策、住宅の耐震化、液状化対策、原子力災害対策、広域避難難心援体制、綾瀬川堤防の

消費税を増額すれば、区民生活に 大打撃。富裕層こそ増額を 日本共産党の質問

放射能汚染対策では、放射能測定器の貸し出しをすすめて、保育園、幼稚園、学校など給食食材の放射能汚染を事前測定すること、都営住宅、公営住宅など水トスポットの測定と除染を管理者が責任もって実施するよう区が要請すること。

介護保険では、給付抑制のため現場では60分の生活援助が45分になり、「利用者が大急ぎで食事する」など実態を示し、機械的な時間短縮は行わないよう指導を求める質問をしました。

生活保護については、人気が出たタレントの親の扶養という特殊なケースはあくまで道義的な問題であり、制度の欠陥ではないこと、今回の事例「関わって憲法25条で保障された生存権を奪い、必要な人が必要なときに受けることができなくなるようなことは、あってはならない」と質問しました。

消費税を増額すれば、区民生活に大打撃。富裕層こそ増額を日本共産党の質問

放射能汚染対策などについて質問しました。



写真は質問のため関原の森・修復型まちづくりを調査する区議団・伊藤和彦撮影・6月9日



団地を壊し売却予定の工事が進む花畑団地西側

花畑団地を住みよくする会（代表・荒木富佐）は、日本共産党・田村哲子参院議員、大島よしえ都議とともにUR・都市再生機構から花畑団地の再生に関わる聞き取り調査を5月17日に参議院議員会館で行いました。
要望事項は特別養護老人ホーム、シルバークラブ、医療機関などの建設をはじめ、



花畑団地を住みよくしたい！ URと、区に交渉しました

6月6日、足立区の都市整備部 岡野部長、住宅都市計画真鍋課長、まちづくり佐々木課長と交渉しました。
URの複合型再生団地事業は、花畑団地の半数近い1157戸を壊し、約5万㎡の広大な土地を民間に売却しようとしています。すでに今年、売却予定地をトタン板で囲み一切の出入りができなくなっています。（写真上）

施設 各階停止のエレベーター設置 継続世帯のリフォーム、西集会所がなくなったので代わる施設の設置、交通・バス路線などです。
その内容をもとに、



団地のみなさんと交渉する伊藤区議

じめ、高齢者が楽しく交流できるサロンなど設置、子育て



平家の里・散策

6月10日、11日に北部後援会・恒例の旅行会に出かけてきました。晴天のなか雨ががりの湯西川の深緑は心が和みました。吹く風

湯西川温泉に行つてきました。

URとの聞き取り調査では、区とよく協議する、といっているので区の考え方を聞きました。
区は、約5万㎡の土地についてはまだ計画はない。住民の要望も聞きURと話し合いを進めていく。URには区の要望にこたえてもらう」と答えました。
団地自治会の調査でも65歳以上の高齢者が全体の70%を超え、そのうち32%の世帯はひとり暮らし高齢者となっています。孤独死解消をめざす安否確認活動なども行われ

ていますが困難を抱えています。住みよくする会では居住者の要望を実現させたいと根ばり強く取り組みをすすめています。



同級生が60年ぶりに握手する
IさんとMさん・湯西川にて

した。ちよつといい話で宴会の席でも紹介したところ会場は拍手喝さいとなりました。いい思い出になった旅行会となりました。みなさん、ありがと。実行委員のみなさん、ご苦労様 ありがと。伊藤和彦

を楽しみながら平家の里を散策し、初めての方もカメラに撮り、温泉に浸かりました。部屋ではビールを飲みながら話が弾み、自転車屋のIさん「千住の床屋のMさん？」
「なんと2人は足立学園の同級生。60年ぶりのご対面となりま



全国市議会議長会より特別表彰

私はこのほど区議会議員25年在職に対し全国市議会議長会より表彰が行われました（5月29日）。区議会議長室にて表彰状と25年議員バッジを受けました。伊藤和彦

「とてもいい映画です。みんなに知らせてください」保木間・Yさんより

隣 とな る人

問い合わせは 3880 5770 控え室

ボレボレ東中野

JR東中野駅ホーム北側線路沿い 電話03-3371-0088

親と暮らせない子どもたちと、隣り合う保育士たち。そして、子どもとふたたび暮らすことを願う親。ある児童養護施設の、日常を追う八年のものがたり。